

# 平成 23 年度 ( 4 ~ 10 月 ) 事業報告

## < 一 般 会 計 >

### 第 1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業 ( 公益目的事業 )

#### 1 乗用馬等の生産育成振興事業

##### ( 1 ) 乗用馬等の生産育成指導事業

###### 生産育成指導管理

乗用馬の生産育成を指導・促進するため、指導技術者及び事務員各 1 名を置いた。

###### 乗用馬の生産育成促進指導

ア 北海道地区及び岩手県遠野地区の乗用馬生産農家の組織強化と乗用馬生産基盤を強化するため、乗用馬の計画的生産の促進、現地に適した生産体制について検討会を行った。( 釧路市 10 月 26 日、遠野市 10 月 30 日 )

また、釧路市及び遠野市での乗用馬市場の開催に際しては、当協会の職員が調教等に協力した他、せり名簿の作成について助言、協力するとともに作成経費を助成した。

イ 遠野で生産された乗用雌馬ヴァリスラート号 ( トラケーネン種 × 日本スポーツホース種 ) を繁殖用として買い上げ、当地で貸し付けるとともに、J R A から贈与を受けたハヤミドリ 号 ( セルフランセ系 ) を繁殖用として貸し付けた。

##### ( 2 ) 日本在来馬の保存活用推進事業

###### 連絡調整事務

日本在来馬の保存活用に係る各馬種団体の保存活動の円滑な運営と活性化を図るため、現地調査を行うとともに連絡会議等へ出席した。( 北海道和種 : 4 月 26、27 日、木曽馬 : 5 月 23、24 日、御崎馬 : 8 月 28、29 日 )

###### 日本在来馬の保存登録

在来馬の保存のため、北海道和種 ( 血統登録 : 99 頭、繁殖登録 : 21 頭 )、及び野間馬 ( 繁殖登録 : 1 頭 ) について登録を行うとともに対州馬については継続して登録を行うよう指導した。

与那国馬については、2 月に実施した調査と D N A 型検査結果を受けて、データに基づいた血統図を作成するとともに馬管理台帳を作成した。また、東牧場等に飼養されている 12 頭について M C の埋め込みと D N A 型の検査を行った。

#### 2 農用馬等の生産振興対策事業

##### ( 1 ) 農用種雄馬の整備事業

農用馬の資質の向上と増産を推進するため、家畜改良センター有種雄馬 6 頭 ( ペルシュロン 1 頭、ブルトン 5 頭 ) を借り受け、馬産地に配置 ( 転貸 ) した。

フランスから改良に必要な純粋種 2 頭 ( ペルシュロン 1 頭、ブルトン 1 頭 ) を、

十勝牧場に配置するため、輸入した。(10月末時点では検疫中、11月16日に十勝へ搬入予定)

ばんえい競馬で優秀な成績を残した競走馬の中から候補種雄馬を購入し、主要な生産地に配置するため、準備を行った。

#### 家畜改良センター有種雄馬の借受と配置

年齢 2歳6頭

品種別配置先頭数 (単位:頭)

区分	十勝	根室	函館	青森	岩手	計
ペルシュロン	1					1
ブルトン		1	1	1	2	5
計	1	1	1	1	2	6

#### 本会有種雄馬の購買と配置

品種別配置先頭数(輸入馬) (単位:頭)

区分	家畜改良センター十勝牧場	計
ペルシュロン	ユネスコ ド テューレ(3歳)	1
ブルトン	ウルマ ドュ スーケン(3歳)	1

## (2) 種馬登録事業

北海道においては輓系馬、乗系馬及び小格馬、岩手県においては輓系馬及び乗系馬、熊本、宮崎の各県においては輓系馬を主体に登録を行った。

### 登録事務の推進

種馬登録事務の適正かつ円滑な実施を図るため、本部及び北海道事務所に技術者、事務員を配置して登録事務に当たったほか、関係団体等の協力を得て登録事務を行った。

#### ア 登録審査委員の委嘱等

登録審査委員については、人事異動等必要に応じ、本会役職員、学識経験者、関係団体の役職員のうちから適任者を委嘱(又は任命)した。(新規7名、平成23年10月末現在59名)

#### イ 登録審査委員研究会の実施

登録審査を厳正に実施するため、7月5日に地方競馬教養センターで登録審査委員を対象に登録実務研究会を開催した。(参加者11名(オブザーバー1名含む))

#### 登録審査の実施

登録申込みのあった馬については、関係書類及び実馬を審査して登録を行った。

平成 23 年度（4～10 月）種馬登録・個体識別等頭数

（単位：頭、％）

区 分	農 用 馬 等					在 来 馬	合 計		
	輓 系	乗 系	小 計	小 格	計		頭 数	前 年 度 比	
血統登録	北海道	1,281	149	1,430	210	1,640		1,739	87.8
	都府県	79	35	114	0	114		114	39.9
	計	1,360	184	1,544	210	1,754	99	1,853	81.5
繁殖登録	北海道	179	28	207	92	299		320	79.9
	都府県	13	8	21	0	21		22	42.9
	計	192	36	228	92	320	22	342	75.7
計		1,552	220	1,772	302	2,074	121	2,195	80.5
個体識別証明 内国産馬証明	北海道		7	7	10	17		17	70.8
	都府県		10	10	0	10		10	250.0
	計		17	17	10	27		27	96.4
合 計		1,552	237	1,789	312	2,101	121	2,222	79.5

（注）前年度比には、在来馬の頭数は含まない。

登録証明書の発行等

登録した馬については、種馬登録証明書を交付したほか、種馬登録情報をインターネットで開示した。（（2）の表参照）

（3）馬生産推進事業

農用種雄馬の適正配置

ア 種雄馬配置協議会の開催

家畜改良センターから借受けた種雄馬の適正配置を図るため、十勝牧場に配置を希望する団体（6 団体）の参集を得て配置協議会を開催し、種雄馬 6 頭を適正に配置した。（8 月 5 日）

イ 種雄馬の管理指導

- （ア）配置種雄馬の管理を適正に行うため、管理状況の把握と管理指導を行う。
- （イ）交配種雄馬の選定、配置転換及び登録審査の参考に資するため、種雄馬名簿を作成することとし、準備を行った。

農用馬の生産振興

ア 農用馬の生産技術の指導

農用馬の生産を促進するため、技術者及び飼養者を対象とした技術講習会等を開催するため、7 団体に指導奨励金の交付決定を行った。

イ 診療技術研修会の開催

馬の診療技術者の養成及び生産技術の向上を図るため、診療技術研修会の準備を行った。（開催予定：1 月 18 日～30 日）

優良農用馬資源確保のための緊急特別対策

ばんえい競馬の競走馬資源を確保するため、ばんえい競馬主催者である帯広市が競馬番組で定める 2 歳馬競走の優勝馬等（予定対象競走数 118 競走）の生産者

に対して生産者賞を支給する事業に対して帯広市に助成した。

### 3 家畜改良体制運営事業

(社)家畜改良事業団が行う家畜改良データバンクに種馬登録データの入力を行い、血統登録データの活用を図った。

### 4 褒賞の実施

農用馬等の生産振興を図るため、ばんえい競走の勝馬(2R)、種馬共進会等(9件)、全国装蹄競技大会優勝者に対して褒賞を行ったほか、根釧乗用馬生産者馬術大会等に対して後援(5件)を行った。

## 第2 広報事業(公益目的事業及び管理部門)

馬事関連情報、規程及び乗用馬市場開催の出場馬名簿等をホームページに掲載した。

## 第3 その他庶務的事項

### 1 事務体制の強化

事務委託団体及び関係機関と一層の連携を図った。

また、10月18日付けで内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、11月1日付けで公益社団法人への移行登記を行うこととしている。(登記済み)

### 2 会員の状況(平成23年10月31日現在)

団体会員 72団体(平成23年度(4~10月)中の入退会なし)

個人会員 35名(平成23年度(4~10月)中の入会1名、退会2名)

### 3 会議等の開催

当協会の事業運営について審議・協議するため、総会、理事会を開催した。

#### (1) 通常総会 6月3日 馬事畜産会館2階会議室

議案第1号 平成22年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録並びに監査報告の承認に関する件

議案第2号 平成23年度事業計画及び収支予算の承認に関する件

議案第3号 平成23年度会費賦課額の決定並びに徴収方法に関する件

議案第4号 常勤役員の報酬に関する件

議案第5号 新公益法人への移行に関する件

議案第6号 公益社団法人日本馬事協会定款の制定に関する件

議案第7号 公益社団法人日本馬事協会の役員の報酬及び退職慰労金の支給に関する規程の制定に関する件

議案第8号 平成23年度正味財産増減予算書の承認に関する件

議案第9号 補充理事1名の選任に関する件

( 報告事項 )

新たな会員の入会について

なお、理事の新たな選任は以下のとおり。

新任 栗本共明 ( 安武正秀の後任 )

( 2 ) 理事会

第 1 回理事会 6 月 3 日 馬事畜産会館 2 階会議室

第 1 号議案 第 64 回通常総会提出事項に関する件

議案第 1 号 平成 22 年度事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、  
貸借対照表、財産目録並びに監査報告の承認に関する件

議案第 2 号 平成 23 年度事業計画及び収支予算の承認に関する件

議案第 3 号 平成 23 年度会費賦課額の決定並びに徴収方法に関する件

議案第 4 号 常勤役員の報酬に関する件

議案第 5 号 理事の補欠選任に関する件

議案第 6 号 平成 23 年度正味財産増減予算書の承認に関する件

第 2 号議案 新たな入会希望者の入会に関する件

第 2 回理事会 6 月 17 日 日本馬事協会会議室

議案 社団法人日本馬事協会役員給与規程の一部改正に関する件

第 3 回理事会 10 月 5 日 日本馬事協会会議室

議案 社団法人日本馬事協会種馬登録規程の一部改正に関する件

( 3 ) 監事監査 5 月 17 日 日本馬事協会会議室

( 4 ) 検査の受検

地方競馬全国協会による畜産振興補助事業に関する監査

10 月 3 日、4 日

#### 4 役職員の異動

( 1 ) 平成 23 年 6 月 3 日

理事退任 安武正秀

( 2 ) 平成 23 年 6 月 4 日

理事就任 栗本共明

( 3 ) 平成 23 年 9 月 9 日

理事退任 杉野 毅 ( 逝去 )

( 4 ) 平成 23 年 10 月 31 日

理事退任 金谷和夫

神谷孝之

時田茂光

## < 特 別 会 計 >

### 第 1 馬の改良増殖、保護・利用増進及び馬事知識の普及事業（公益目的事業）

#### 1 馬事普及啓蒙推進事業

馬事知識の普及、馬の利用促進及び農用馬の生産振興を図るため、次の事業を行った。

##### （1）馬事普及啓蒙対策事業

ホームページを逐次更新し、農用馬に関する情報提供を行った。

##### （2）馬事普及のための特別対策事業

馬事知識の普及を図るため、特定非営利法人とかち馬文化を支える会が帯広競馬場等で再現する「チャグチャグ馬コ」、釧路農業協同組合連合会が釧路市内で開催される「釧路大漁どんぱく」において行う「乗馬体験及びばんえいPR」、荒尾競馬組合が行う乗馬体験イベント、宮崎県畜産振興協議会が宮崎県畜産共進会に併せて行う乗馬等のイベントの開催に対して助成金の交付決定を行った。

##### （3）馬事思想普及用機材の貸付事業

馬事思想の普及を図るため、岩手県競馬組合が行う岩手競馬の開催日にブックレットを配布したほか、13団体にパネルの貸し出しとブックレットの配布を行った。

##### （4）馬事普及関係資料の収集分析機器の設置事業

血統登録情報の管理システムの保守を行いながら、種馬登録に係るデータベースを作成し、提供した。

##### （5）優良農用馬の生産振興対策事業

農用馬の生産振興のために、釧路農業協同組合連合会が馬産後継者対策として行う優良な馬の生産及び消費拡大についての視察研修会等の活動に対して助成金の交付決定を行った。

##### （6）農用馬生産者の馬事知識普及啓蒙事業

一般市民等に対する馬文化の啓蒙のため、第15回北海道総合畜産共進会実行委員会馬部門事務局が行う共進会、北海道鞍用馬振興対策協議会が行う全道祭典ばんば1才馬決勝大会の開催に対してそれぞれ助成金の交付決定を行った。

##### （7）農用馬生産振興推進事業

地域の実態に即した農用馬の生産振興策を検討するため、北海道ブロックは10月17日に帯広市で開催した。（東北ブロックは11月18日に盛岡市で、西日本ブロックは11月25日に熊本市で、第2回目の北海道ブロックは3月26日に開催予定）

#### 2 日本在来馬種保存事業

日本在来馬種保存のため、次の事業を行った。

##### （1）日本在来馬種の保存・利活用

日本在来馬の保存、利活用に必要な飼育管理費、保存活用研究費、施設等整備費等を全国8馬種の保存会へ助成した。

また、保存会関係者の飼養管理技術の向上等を図るため専門家を派遣するとともに、保存・利活用を推進した。

(2) 絶滅が危惧される在来馬に対する対策

絶滅が危惧される3馬種(対州馬、宮古馬、与那国馬)については、馬種ごとに必要な施策(保護及び繁殖技術指導、登録)を行った。(指導調査を対州馬:10月26、27日に実施し、与那国馬及び宮古馬は12月に予定)

与那国馬にあっては、登録のための血統図を作成するための準備を行った。

3 アニマルウェルフェア飼養管理確立推進事業(平成21~23年度)

アニマルウェルフェアに対応した馬の飼養管理指針の普及のため、次の事業を行った。

(1) 事業推進委員会・専門部会開催事業

前年度に作成した「アニマルウェルフェアに対応した馬の飼養管理指針」を普及定着させるために事業推進委員会及び普及啓発推進委員会を開催して、パンフレットの作成及び勉強会とセミナーの実施方法等について検討を行った。(事業推進委員会:6月23日、普及啓発推進委員会:7月22日、10月7日開催)

(2) アニマルウェルフェア普及啓発推進事業

アニマルウェルフェアに対応した馬の飼養管理指針を普及定着させるため、普及啓発のための冊子を作成配布(11月予定)するとともに、生産者や指導者に普及させるための現地勉強会を実施した。(北海道:10月17日帯広市で実施済み、関東は11月10日に成田市で、東北は11月18日に盛岡市で、九州は11月25日に熊本市で実施予定)また、市民や生産者等に普及させるためのセミナーを今後開催する予定である。(東北は11月20日に十和田市で、九州は11月26日に熊本市で、北海道は12月4日に帯広市で、1月25日に苫小牧市で開催予定)

4 馬能力向上推進事業(平成22~24年度)

国内生産馬の能力を向上させるため、次の事業を行った。

(1) 馬能力向上推進委員会の開催等事業

学識経験者等からなる推進委員会及び専門委員会を開催し、馬事関連団体の連携システムの構築及び国内生産実態に即した馬能力評価方法の作成のための検討を行った。(馬能力向上推進委員会:5月18日、馬事関連団体連携委員会:5月26日、10月12日、国内生産馬能力評価方法検討委員会:6月13日開催)

(2) 情報一元化システムの整備事業

馬の個体情報の一元的な管理及び利用に向け、馬事関連団体(日本馬術連盟、ジャパン・スタッドブック・インターナショナル、全国乗馬倶楽部振興協会、日本馬事協会)が持つデータベースを各団体のホームページ上で一致させるためのシステムの開発及び整備を行っている。

(3) 馬能力評価方法の調査検討事業

帯広畜産大学に委託して、来年1月にスウェーデン、オランダ及びイタリアにおける馬能力評価方法等について調査を行うこととしており、そのための打合せ等を行った。

帯広畜産大学に委託して、馬の能力評価手法のプロトタイプを作成することとし、サーバーの購入、ソフト開発のための打合せ等を行った。

## 5 馬人工授精普及定着化事業（平成23～25年度）

馬人工授精技術の普及・定着のため、次の事業を行った。

### （1）事業推進委員会の開催

学識経験者等からなる推進委員会を開催し、事業の効率的な推進等について検討を行った。（8月18日開催）

### （2）優良種雄馬の凍結精液の製造・保管

全国の優良な種雄馬を集めて凍結精液を製造・保管するために、凍結精液保管器を整備するとともに、精液採取を行う優良な種雄馬1頭を遠野馬の里に集めて精液製造の準備を行った。（ハノーバー種1頭（マディクシー号））

また、人工授精技術の普及を行うための映像資料（DVD）の作成のための準備を行った。

（巡回指導等は、24年度以降に予定）

平成23年度（4～10月）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。